

## 風の子保育園 30年度 事業計画

今年度、40周年記念事業を計画しています。職員の団結と卒園生・保護者のつながりから風の子の未来につながるような取り組みにしていきたいと考えています。

新制度になり4年目、委託費と加算という仕組みが当たり前のようになってきています。

そのなかでも処遇改善費Ⅰ（職員給与の改善として全員対象）と処遇改善費Ⅱ（職務と職責を担う主任及びリーダーのみ対象）が委託費として毎月組み込まれるようになりました。

今年度予算については、新公定価格単価で試算。（人事院勧告により公定価格単価あがっている）

加算率、昨年と同じ18%で試算。3歳児の受入数が少ないため、①②のような状況が考えられます。①職員の昇給については、処遇改善費Ⅰの金額をクリアするような賃金に留める②チーム保育推進加算(平均勤続年数が15年以上)については、今年度もおそらく対象となるが、一時金という形で支給できるかは検討。

0歳児クラス（6人から出発し後半10月から3人枠を受け入れ9人の集団にします。

障がい児保育については、2歳児ダウン症H君は歩行困難であるため1歳児クラスで受け入れ、保育士が1人つきます。5歳児については、ダウン症Aちゃんと心臓疾患をもつK君、言語の遅れがあるH君を含めた集団を2人の保育士でみます。

昨年度から、園長・主任体制にし、仕事内容と分担の見直しをはかってきました。今年度は、処遇改善Ⅱに伴う仕事内容と分担を明らかにしていきたいと考えています。今年度、退職者1名（保育士1名）があり、保育士1名と栄養士1名を採用することができました。新規採用職員の確保については前年度からの課題です。地域については、新たに保育園体験希望者（一時預かり）を募集し、3歳児入園として繋がるように働きかけを行っていきます。

※昨年から未来検討委員会を中心に記念誌とイベントにわかれ定期的に話し合いながら進めてきています。

<40周年記念事業>（式典は行わない）

●平成30年8月11日（土） 午後18時から午後20時

●風の子保育園 園庭

●目的・・・40周年を祝い、なつかしむ。

●職員による劇と太鼓の披露

●40周年記念誌（記念品）の発行

●第31回卒園生から第38回年卒園生（小学1年生から20歳くらい）を中心にコメントをよせてもらう